



令和3年12月 3日
横浜市立緑園東小学校
校長 副島江理子
栄養教諭 田中 翔子

今年も残すところ あと1か月となりました。寒い日が続いていますが、体調をくずしている人はいませんか？外で遊んだあとや、食事前、学校から家に帰ってきたときの手洗い・うがいをしっかりと、感染予防を心がけましょう。



12月・1月のお弁当について

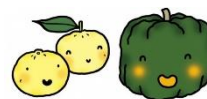
○12月のお弁当（配達弁当の提供）の最終日は23日（木）です。配達弁当の献立表には24日の分まで書かれていますが23日までになりますので、ご注意ください。

○1月のお弁当開始日は11日（火）からです。配達弁当をご注文される方は12月20日までにサイトに注文してください。

※朝、お弁当を家に忘れてしまった！配達弁当を頼んでいると思ったら頼んでいなかった！など、学校に来てから気づくことが増えています。お子様と事前に確認してから送り出してください。よろしくお願いします。



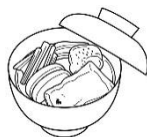
12月22日「冬至」



ウインター ソルスティス

冬至は一年のうちで最も昼が短くなる日のことを言います。英語で冬至は「Winter solstice」です。「solstice」はてっぺんという意味で、古代ローマ時代、太陽の力が弱くなるこの時期に人々が集まって楽しく過ごし、太陽のよみがえりを祝う冬至祭が広く行われてきました。これがクリスマスの原型になったそうです。

日本では冬至の日に健康を願ってゆず湯に入り、かぼちゃを食べます。かぼちゃにはかぜを予防し、血管や皮膚を丈夫にする働きがあるカロテンがたっぷり含まれています。夏にとれたかぼちゃを野菜が少なくなる冬に食べて、ビタミンを補給して健康に過ごそうという、昔の人の知恵です。



☆☆☆☆

12月31日「大晦日」

おおみそか

☆☆☆☆

「そばのように長く、命をのばせますように」願いを込めて、年越しそばを食べます。また、そばは切れやすいことから、一年の苦労や厄災を断ち切るという意味があるともいわれています。

1月1日「元日」

かんじつ



「おせち料理」は日本の伝統的な行事食です。一年間しあわせにくらせるように、ひとつひとつの料理にねがいがかめられています。年末年始にかけては、日本の伝統的な行事食を食べる機会がたくさんあります。食文化の豊かさや奥深さなどを、ぜひご家庭で話題にいただき、子どもたちにも実際に経験させてあげてください。



世界の食料事情と国連WFP



国連WFPは1961年に飢餓のない世界を目指して創設され、紛争地への食料供給や途上国の学校給食の提供などの活動を行い、地域社会と協力して栄養の改善と復興・回復に向けた強い社会づくりに取り組んでいます。

国連WFPのホームページ (<https://ja.wfp.org> : 右QRコード) から、現在、世界が直面している問題と、国連WFPの主な活動についてお知らせします。



11人に1人が 飢えて苦しむ



世界の11人に1人が十分な食料を得られない状況で生活しています。最新の報告書では、新型コロナウイルス禍や気候変動等の影響でさらに増加し、最大8億1100万人と推計されました。

深刻な 食品ロス



世界でつくられた食料の約1/3が失われ、むだになっています。世界の人口を養うのに十分な食料が生産されているにもかかわらず、8億人以上が毎晩空腹で眠りにについています。

学校給食が子どもの 学びを支える



世界の数多くの子どもが毎日空腹のまま学校に通い、授業に集中できずにいます。学校給食は栄養や健康状態を改善するだけでなく、子どもたちの学校での学びを支える大きな力になります。

小さな子どもと 保護者のための支援



2歳までに十分な栄養をとれないと、体の発達が遅れ、影響が生涯に渡るおそれもあります。健康のためによい食事を選択できる力を高める支援も行います。

災害・紛争時の 緊急支援



紛争や大災害が起きたとき、まず必要となるのが食料です。国連WFPはいち早く被災地域に入り、人々に生き延びていくための食料を届けます。

私たちは 何をすればいい？

寄付で協力することができます。また国連WFPに長く勤めていた忍足謙朗さんは次のように書いています。

「日本の人たちに、もう少し世界の不平等について関心を持ってほしいという気持ちがある。知ってくれるだけでもいい。『どこか遠い国で起きている出来事で、私たちには関係ない』と思わずに、地球は、小さい星だ。その地球の同居人として、世界レベルの『思いやり』をもつことを考えてほしい」*

写真の説明：(上左) 2021年3月 イエメン。WFPの食料支援前は毎日の食事の維持にととても苦労していた。(上右) 2021年4月、ルワンダ。学校菜園でとれた新鮮な野菜を使った学校給食の様子。2020年は新型コロナでこの学校も一時閉鎖された。(下左) 2017年3月 バングラデシュ。3歳の息子を抱く25歳の母親。WFPの支援クリニックから補助食品を受け取る。(下中) 2019年3月 モザンビーク。陸路でアクセスできない村に到着したWFPヘリコプター。